

## 平成28年度性教育検討委員会概要

日時 平成29年2月26日(木) 午後1時30分～2時30分

場所 小田原合同庁舎 3階G会議室

### 出席者

性教育検討委員：学校医4名、市立病院産婦人科主任部長、市立病院産科看護師長  
中学校長1名、中学校養護教諭1名、教育指導課指導主事1名 計9名  
事務局（保健給食課長、副課長、保健係員2名）計4名

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

性教育検討委員に対し、保健給食課長より、日頃の学校保健事業の尽力への謝辞と、次のおりあいさつをした。

通信環境は日進月歩しており、大人たちがついていけない程の早さで子どもたちはその方法を習得し、様々な情報を集めている。しかし、情報の中には、誤った情報も含まれており、大人はそれを意識して情報を得ているが、子どもたちの意識はまだまだ甘いという現状がある。性に関する情報についても様々なところから子どもたちは情報を入手していると思うが、この性教育講演会では、性の正しい知識を講師から教えてもらい、また、生命の大切さを通して自分自身を大切にすることにつなげていく事業だと聞いている。本日は、限られた時間ではあるが、委員の皆様にはそれぞれの立場から活発な意見をいただき、この「性教育講演会」が今後もより効果的な事業となるよう、内容等の検討をお願いしたい。

また、性教育検討委員会要項の一部を改正したことを報告した。

#### 3 委員長選出

要項第4条2項により、学校医部会長 遠藤委員が委員長に選出された。

#### 4 議題

##### (1) 平成28年度の性教育講演会について

**委員長**：議題(1)平成28年度の性教育講演会について、事務局に報告をお願いします。

報告を聞いて、今年度の性教育講演会の評価し、生徒の感想や、アンケートを見て、目的を果たしているかどうか審議する。

**事務局(説明)**：

急速に進む情報化社会の中で、不確かな性情報の氾濫、また、性に対する関心や性衝動の発見が早期化の傾向にある。そのため、性についての正しい知識の普及を図ることを目的とし、中学校の生徒や保護者を対象に性教育講演会を開催した。

講演会の実施方法としては、昨年度の検討委員会で推薦された講師の中から、中学校からの希望をもとに教育委員会で講師に依頼後、各中学校で講師と打ち合わせをし、講演会を実施した。また、新規の講師には、性教育指導の手引きを配布し、本事業を実施する目的を良く伝えた上で講演会を依頼した。

講演会の開催は、平成 28 年 6 月 1 日から平成 29 年 3 月 2 日までの間に、市内の全中学校で開催を計画し、昨年末時点で 6 校が講演会を終えており、残り 5 校は 3 月に開催予定である。

それぞれの学校において、命の大切さ、男女の心と体の違い、男女だけではない性、思春期の心と体、妊娠と出産、性感染症やエイズ、医療現場での体験談など学校の希望にそって、講師の先生方にお話をいただいた。生徒たちの感想をみると、どの講師も中学校の希望に応じて生徒に語りかけてくださり、生徒たちがそれを真剣に受け止めたことがうかがわれる。

**委員長** : それでは、平成 28 年度の性教育講演会の評価をしたい。生徒の感想やアンケートを見て、目的を果たしているかどうかなど、意見をいただきたい。

**委員** : 質問がある。平成 28 年度性教育開催日程一覧表には、鴨宮中学校と千代中学校の講演会の講師は、坂本亜紀乃先生と記載されているが、平成 28 年度性教育講師一覧には記載がないのはどうしてか。

**委員** : 病院には異動があり、前年度の時点では講師が確定しないこともある。平成 28 年度講師一覧に記載のある堀田有紗先生については、産休に入ってしまったため、今回の講師の変更となった。

**委員** : 事情は分かったが、実際に講演を行ったのは坂本亜紀乃先生であるから、坂本亜紀乃先生も平成 28 年度性教育講師一覧に載せるべきだ。

**事務局** : 坂本亜紀乃先生を平成 28 年度性教育講師一覧に記載する。平成 29 年度については、市立病院の助産師は、堀田有紗先生と川崎涼子先生が講演会を行う予定である。

**事務局** : 本日欠席されている岡宮保彦先生より、講演会の時に質問ができなかった生徒には養護教諭がフォローされていると思うが、生徒から聞きたいことや個人的な相談がある場合は、診療所で岡宮先生が個別で相談を受け付けるという申し出があった。

**委員** : 講演の内容そのものに対する疑問などについては、講演会の場に私たち養護教諭もいるので、フォローしている。しかし、「内容をもう少し深く知りたい」「個人的な悩みを相談したい」という生徒もいるので、岡宮先生の申し出はとてもありがたい。そのような生徒がいた場合は、ぜひ行かせていただきたい。

実際に、性感染症でお世話になっている生徒も市内の学校にはおり、丁寧に対応していただいている。私たち養護教諭も医師の指導を受けながら、「病院にはきちんと通っているのか」「薬は最後まで飲んでいるのか」などと子どもたちに声をかけ、日常的なケアを行っている。そのようなことで、子どもたちの行動が簡単に変わるというわけではないと思うが、次に感染しないためにという心構えはだんだんついてくるのではないかと考えている。

**事務局** : 性教育指導の手引きについては、変わっていないということでよろしいか確認したい。

**委員** : この性教育指導の手引きは県の教育委員会から出されているものだが、現時点では新しいものは出ていない。

**委員** : 白山中学校は、3 月 2 日に渡會睦子先生の予定になっているが、自分は前日の 3 月 1 日に白山中学校で講演会を行う予定であるが、平成 28 年度性教育講演会開催日程一覧表に載っていないのはなぜか。載っていないということは、性教育講演会ではな

い講演会という認識でよろしいか。学校からは、講演会では感染症と避妊について詳しく話して欲しいと言われている。

**事務局**：学校から講演会の話が正式にきていないので一覧表には載せなかったが、平成 28 年度講演会開催一覧表に追加する。

**委員**：先程、講演会のあとに病院で治療を受ける子もいるという話があったが、質問で病院を訪れる子と診療で訪れる子は違うので、両者が混ぜこぜになってしまうとプライバシーの問題にも関わってくると思う。学校への情報提供はどう行うのか。病院が学校に受診歴等も報告するのか。

**委員**：初回の受診については、学校に連絡すると思うが、そのあとの受診も連絡が学校に行くことになるのか。そうすると、プライバシーの問題に関わってくると思う。

**委員**：生徒やその保護者が病院を受診したことを直接学校に話してくださることはあるが、学校が直接医療機関から受診歴等を聞くようなことはない。

**委員**：今年は岩室紳也先生の講演会はなかったのか。

**事務局**：学校からの希望がなかったので、岩室紳也先生の講演会はなかった。今年度は、渡會睦子先生に人気集中した。

**委員**：各学校で講演会の講師を決めるのは、養護教諭なのか。それぞれの先生の講演会でどのような話がされていたのかなどは、情報共有は行っているのか。

**委員**：学校や学年によってそれぞれ子どもたちの様子が違うので、それを踏まえた上で、学年の担任と養護教諭で、どの講師なら適切だろうか話し合いをして、講師を選んでいる。渡會睦子先生のお話は、リアルで現実的なお話なので、今の子どもたちの心を掴みやすいため、人気が出ている。

**委員**：養護教諭は、ほぼ全ての講師の講演を聞いたことがあるのか。

**委員**：何年かに一度は、各学校を順番に回って講演会を聞いているが、全ての講師の講演会を聞いているわけではない。

**委員**：養護教諭と学年の担任が様々な講演を聞いた上で、適切な講師を選ぶことができれば一番良いのではないか。講演会を録音・録画して情報を共有できれば良いと思うのだが、それは難しいのか。

**委員**：講演を録音・録画することは難しい。

**委員**：では、講演会の情報共有をするためには、養護教諭が直接講演を聞きに行くしか方法がないのか。

**事務局**：養護教諭が講演を聞きに行く時間をぜひ取ってほしい。

**委員**：それは、教育委員会や学校長が養護教諭が講演を聞きに行けるように予定を調整しないと難しい。

**委員**：一部で良い評判があると、その講師に人気集中してしまう傾向があるが、そうではなく、講演内容全体を聞いた上で判断してもらいたい。昔に比べ、講師が増えたため、全ての講師の講演を聞くことはなかなか難しいと思うが。

**委員**：養護教諭部会などで情報共有しながら講師の選定を行っていると思うが、この資料に記載のある各講師の簡単な講演内容をもっと内容を詳しく記載してもらえれば良いのではないか。

また、生徒の感想も講師を選ぶ上で、ひとつの参考資料となると思うので、生徒の

氏名等は伏せて、講師の名前だけ書いて、その講師の講演を聞いた生徒の感想を載せるのも良いのではないか。

**委員**：この資料の感想は、生徒全員の感想が載っているのではなく、抜粋であると思うが、見ていると講演内容に対して肯定的な意見ばかりである。なかには否定的な意見等もあったのではないか。

**事務局**：「聞いていて恥ずかしかった」などの意見もあった。

**委員**：同じ学年でも個々の性的な発達の度合いは違うので、否定的な意見も感想に載せておかなければいけないと思う。

**委員**：PTA など保護者も講演を聞いていると思うので、保護者の感想も載せたら良いのではないか。

**委員**：保護者からは、家庭ではなかなか子どもたちには話せない内容が、この講演会では、子どもたちが聞くことができ、また、性の正しい知識や話を聞くことができることはありがたいという意見が多い。

講演会の案内を出すなど、どの学校も保護者への周知は行っているが、講演会は平日の午後の時間が多いのでなかなか来ることが難しい。学年だよりや学級通信などで、講演会でどのような勉強をしたのかなどを保護者に伝えている学校は多い。

**委員**：学校の先生の感想はどうか。教師の感想も参考になるのではないか。

**委員**：高校生になると性感染症かなと思ったら病院を受診するなど自分で動くことができるが、中学生だと気がついて親に言うことができなかつたり、現実に足がすくんでしまつたりして、病院を受診する等次の行動がとれないことも多いのではないかと思う。親が今の子どもたちのレベルを理解する必要があると思う。

そこまではすることはなかなか難しいとは思いますが、講演会のあとに、家に帰って親子で性の話をするのが、本当の性教育なのかなと思う。

**委員**：虐待の中でも、性的虐待は親に言うことが出来ないので見つけることが難しいが、性教育講演会がきっかけで、そのような話を養護教諭の先生に話すことができるようになれば、見つけることも可能であると思う。

**委員**：高校生だと具体的な話ができるのだが、中学生だとそれが難しい。

**委員長**：様々な意見が出たが、性教育講演会の目的は果たされているという評価でよろしいか。

**委員一同**：諾

**委員長**：議題（1）平成 28 年度の性教育講演会については、目的を果たしていると評価し、終了する。

## （2）平成 29 年度の性教育講演会講師の推薦および今後の方向性について

**委員長**：次に、議題（2）平成 29 年度の性教育講演会講師の推薦および今後の方向性について、審議をするが、まず事務局から説明をお願いします。

**事務局（説明）**：教育委員会としては、事業目的を達成するために、今後も医師等の専門職の方に講師をお願いして、性教育講演会をすすめてまいりたい。

登録講師については、早乙女智子先生が京都の病院に勤務されることになったことなどから、来年度は、11 人の講師をお願いしたい。

委員長 : それでは、審議に入る。まず、目的と方法について意見等はないか。

委員一同 : 特になし

委員長 : では、目的と方法については、来年度も従来通りとする。講師について意見はあるか。

委員一同 : 特になし。

委員長 : それでは、これで (2) 平成 29 年度の性教育講演会講師の推薦および今後の方向性について、審議を終了する。

### (3) その他

委員長 : 議題 (3) その他について、何か意見はあるか。

委員長 : 意見も尽きたようなので、それでは、(3) その他について終了する。

以上